

みちのく途中の吟

浣花井

耳井

高きとふた

ほらぬー霜に

下りぬー

六の句一里庵へ文にそ

うの清き道りつれふんき

たのしみなるまはる

手帯

夕の句一里甲子

うの清き道りつれふんき

霜の折乃つれ

ねや清くし

如毛

見源一れ松母明きり

浦のま

表二

しもの中なる登り毛

斗入

遊ひたり

任上田

